

観察記録

日付け	全体	海水温	干潮	潮位 ・cm	潮順	暦	備考
H20.3.8	流れアマモ採集		17:41	19	大潮		
H20.3.9	定植		18:19	28.7	大潮		
H20.3.24	定植したアマモは順調、内一株に卵状のものが付着している、定植地より南にコアマモの群生が出現していた。		18:51	40.4	大潮		
H20.4.6	コアマモは順調に生育、定植二本中一本は風前の灯火		17:30	41.8	大潮		
H20.4.20	流れアマモ6株を定植、前回定植二本の内1本は消滅。		17:27	45	大潮		
H20.5.7	土器川河口にて掘返されていたアマモ10株ほどを移植、前回定植分のすぐ横に100番目のアマモが出現した。前回定植した8本のうち3本だけが残っていた。そのうち2本には新芽が出ていたが、なんとなく弱い。		18:08	17.2	大潮		
H20.5.20	コアマモの上流に2本、排水溝沖に2本自然定床したアマモが芽を出していた。最初に定植したものは2本だけが残っている、前回植えた土器河口沖アマモは順調に生育して葉の数も倍くらいに増えた。ツメタ貝砂茶碗駆除(バケツ4杯)		17:19	44	大潮		10cmくらい潮がかぶっていた
H20.6.3	新たに3株の自然定床を確認、ナータン、ウーア、トウカイ君が遊びに来た。砂茶碗が異常繁殖していたのでみんなで駆除バケツ12杯ほどを処分。(CDブロック沖が大量発生している)		16:21	25.3	大潮		ナータン、ウーア、トウカイの3名見学
H20.6.4	更に2株の自然定床を確認、内一株はかろうじて定床していたが根が露出していたので埋め直した。昨日に引き続き砂茶碗をバケツ4杯ほど駆除、経過観察用に分布図を作成した。		17:08	22.7	大潮		
H20.6.19	個体数は10%ほど増えて順調、ACの個体は消失した。干潟全体にアオサ、細数珠藻が大量発生していた。		17:30	52.2	大潮		
H20.7.1	流れアマモ2株定植、コアマモの新しい群生出現(2㎡)		15:13	38.6	中潮		
H20.7.2	ホソジュズモが大量に漂着してアマモを覆っていた。本数をカウントしたところ、最初から比べると倍くらいに増えていた。極めて順調といっても良いかな？		16:10	33.7	大潮		
H21.8.2	前回より20%減少している、ホソジュズモが無くなり代わりにテングサが大量漂着していた。		17:59	46.4	大潮		
H20.12.15	葉は全部枯死していた、今期は観察終了。		16:27	12.2	大潮		
H21.3.28	コアマモは発芽していたがアマモはまだだった。		18:19	38.7	大潮		

H21.4.12	土器川河口にて掘返されていたアマモ20株ほどを移植、その他磯に流れ着いたアマモを5株定植。ポツポツと新芽が出ているようだが、昨年の個体かどうか判別はまだ不能。		18:42	28.7	大潮		
H21.4.27	23株ほどのアマモを確認出来たが、昨年の比較対照までには至らず。ツメタ貝の砂茶碗がポツポツ出始めたので成体共に駆除。		18:20	22	大潮		
H21.5.10	新たに4ヶ所のアマモを確認、マーキングで鉄筋を立てたがアマモの分布が一目でわかってなかなか良い。昨年との分布対比から一年生の群生である可能性が高くなってきたので作付けを増やす方向に方針転換する予定。干潟はタマキシゴカイの卵塊が目立ち、ウミウシも種類が変わった。砂茶碗と成体駆除。		17:43	35.9	大潮	4月16日	
H21.5.11	土器川河口で掘返されたアマモを30株ほど採集し定植した。砂茶碗と成体駆除。		18:12	36.3	大潮	4月17日	
H21.5.26	個体数は横ばいだが新たに2ヶ所の個体を発見した(内深場のものは二年生か?)。マークの鉄筋を子供達が遊んでいたので注意を促す。ツメタ貝の産卵期になって砂茶碗が異常に出現していた。今回より海水温の項目を追加した。5/27ツメタ貝と砂茶碗バケツ3杯駆除AD3を新たに発見。		18:09	24.2	中潮	5月3日	
H21.6.23	ツメタガイの卵塊はほぼピークでそこら中に散乱しているが駆除は今回パス。その外アカニシの卵塊やアオリイカの卵塊が産みつけられていた。雨上がりで海水が濁って観察はしにくかったが、浅場の個体は葉先が枯れて葉体も短い、沖合いの個体は元気良ききれいだ。全体的にターゲットが沖合いに移動しつつあるので、観察図も模様替えすることにした。		17:17	27.9	大潮	閏5月1日	
H21.7.22	先日来の大雨で泥が2~3cm堆積していた。アマモは衰退期に入り葉が枯れて根元付近のみが残存しているものが多かった。沖合いの海中にある個体や地下水の流れ込んで水温の低い所は比較的状态が良い。テングサが生えはじめタイラギ貝が多いのが目に付いた。		17:21	33.4	大潮 部分 日食	6月1日	
H22.4.18	自然定着分は昨年より多そう、うみふくろうの卵塊が多数、タイラギ貝も昨年よりかなり増えた。それに反比例するようにツメタ貝が少ない。		19:06	21	中潮	3月5日	
H22.4.28	アマモ個体数調査、自然定着分は昨年より倍増。		17:00	30	大潮 満月	3月15日	
H22.4.29	追加調査、新たに11本発見。		17:34	27	大潮	3月16日	
H22.5.16	順調に増えていて総数102本。武と一緒にツメタ貝と砂茶碗を駆除したが昨年よりかなり減少している。		18:17	28	大潮	4月3日	

H22.5.27	出穂始まる。砂茶碗をバケツ2杯駆除、子供達もお手伝い。流れアマモの種を植えた。地下茎のある流れアマモを8本定植。	18:38	34	大潮	4月15日
H22.6.14	アオサが繁茂してきた、昨年に比べ色のある生物が少ない。アマモは花穂を着け始め個体数も増えてきた。砂茶碗とツメタ貝をバケツ2杯ほど駆除。	18:20	30	大潮	5月3日
H22.7.11	アオサと共にテングサが生えてきた。花穂はすっかり抜け落ち、消失した個体もある。(沖合いの方が特に消失)海水温が低いせいか個体数は過去最高だった。種を植えるのは6月末までのようだ。	16:42	39	大潮	5月30日
H23.4.6	海水温が低いせいか細いのがチョロチョロ程度だった。	18:34	32	中潮	3月4日
H23.4.20	昨夏の猛暑のせいか泥地が磯焼けしたように赤茶けていた、コアマモの群生が消失し細いアマモの個体と区別が付きにくいので、とりあえず全てマーキングして経過観察する。タイラギやハボウキ貝は増えたが、キヌタアゲマキが少ない。ツメタ貝は順調に減少している。	18:43	2	中潮	3月18日
H23.5.3	ワカメの切れ端が目につく、新しいアマモもポツポツ生えているが、全体に細い。	17:17	38	大潮	4月1日
H23.5.17	先日の大雨で水が濁っていて条件としては悪かった、個体数の伸びは悪い。	16:50	26	大潮	4月15日
H23.6.15	干潟はホソジズモが席卷していた、アマモは思いのほか成長し花が咲いていた。コアマモは二株ほど残っている、来年繁殖して欲しい。	16:37	34	大潮	5月14日
H23.7.2	昨年3倍の流れアマモ種子を採集定植。定着度合いを確認するために、比較的定着率の良い地下水の流れこむ一帯にラインで定植。定植する深さの判断材料として、10cm、15cm、20cmの三段階の深さに分けて定植した。(陸側に打ち寄せられたとすれば、定植時の深さが原因なのか?)	17:49	42	大潮	6月2日
H23.7.3	今年最後の正式観察、個体数昨年度比97%の好結果でアマモは元気が良い。播種したラインの鉄筋にマーキング、地表面もテープでマーキング。	18:29	39	中潮	6月3日
H24.4.9	昨年播いた種はかなりの確率で発芽していた、試験的に田植えスタイルでAラインより45本を間引いてSラインに移植。海水温が10度と低く干潟に生物の姿は少ない、伊勢二見浦の夫婦岩が異常潮位で干上がった。	18:46	15	中潮	3月19日
H24.5.5	スーパームーンのせいか潮の引きが今一、予定していたアマモ田植えは延期、アマモは順調に生長している。アマモの周りにはちさな生態系が展開している、今年から希少種のコアマモもカウントすることにした。	16:21	31	大潮	閏3月15日

H24.5.8	アマモ田植え試験としてヘドロ状地点DへAより25本、沖合のきれいな砂地へBより30本移植。潮干狩り客にアマモを掘り返されてしまったが、幸い本数が少なかったので埋め戻した。		18:30	19	中潮	閏3月18日	
H25.6.23	アマモ種採集				大潮		
H25.6.24	アマモ播種				大潮		
H26.5.1	コアマモの群生が見事に復活、過去最高の面積。昨年アマモガーゼ巻きで播種したアマモの発芽は思ったより悪かった。		18.28	37	中潮	4月3日	
H26.5.17	わずかばかり干上がったところにはタマキシゴカイのうんちが目立つ、コアマモの群生は根が張って盛り上がってきた。C、Dブロックの陸寄りに大量のアマモが自生していた、放置サンプルが自生したものか？		18.45	27	中潮	4月19日	
H26.6.13	アマモ採集		17:05	35	大潮	5月16日	
H26.6.14	アマモ巻き播種55個		17:52	30	大潮	5月17日	
H26.6.15	個体数カウント、今年はホソジュズモにゴミがついたようなのが目につく、CDブロックのアマモは順調に分けついていた。沖合のアマモは葉先が枯れて元気が無い。		18:39	30	中潮	5月18日	